



代表取締役
上田康志氏
Yasushi Ueda
(株) トリコン

地域の魅力を高め、 人材の定着を図る

地域、人、企業がリンクして
有機的に結びつきながら人材を育てる

下請けから脱却し自社開発型企業に

昭和54年に邑智電子工業を設立してから約30年間にわたり大手電機メーカーの下請けとして発光ダイオード(LED)の製造を手掛けてきましたが、平成12年に脱下請けを図り、別会社を設立。信号機や表示板などに使用する砲弾形LEDの受託生産を主力に、下請け時代に培った高度な製品づくりのノウハウを強みに独自の製品開発を行っています。

下請け時代と違い、自社開発には高度な技術が要求されるため、既存の人材の能力開発を行い底上げを図るとともに、即戦力となる新たな人材を早急に確保する必要があります。

人材育成とは！
地域全体のレベルアップが
人のレベルアップにつながる

2010年度 事業方針

徹底勉強

「生産革新」による

利益の
極大化

自己実現
の実践

仕事力
適正評価

「なりたい自分」に基づく

「プロフェッショナル」としての

活用施策

- 高等専門学校等を活用した中小企業人材育成事業 (松江工業高等専門学校)
- 人材養成等支援事業 (企業立地促進法)
- 若者と中小企業とのネットワーク構築事業 (ジョブカフェ機能強化型)

がると考えるからです。地域レベルで技術や人材の育成を図ることが、島根県の製造業全体のパフォーマンスを上げる好循環を生み出すのですから。

次世代を担う若者に地元回帰を説く

年々、地域を離れる若者が増え、人の流出や過疎化は深刻です。私自身も一度は地元を離れ、Uターンしたのでよくわかるのですが、都会へ行くことだけが全てではありません。田舎の強みは、地域と関わりながら人間らしい暮らし方ができる点。私や会社を育ててくれた地域に恩返しをしたいという気持ちから、ジョブカフェ事業の一環として高校への出前企業ガイダンスに参加したり、高校の進路講演会で話をしています。また、地元の松江工業高等専門学校の実践教育支援に関連し、石見銀山で使われていた「螺旋」をLEDで再現した商品を共同開発するなど、高専との関わりも大切にしています。

社員はもとより、地域の若い人たちのモチベーションアップを図ることが経営者の役目。将来を見据えて地域に貢献する取り組みをしていきたいですね。



会社概要 — Company Data —

株式会社トリコン

島根県邑智郡邑南町中野3825番地8

TEL : 0855-95-2150

URL : <http://www.toricon.co.jp>

- 設立 平成12年
- 資本金 1,500万円
- 従業員 45名
- 事業内容 電子部品製造業 (発光ダイオードランプの製造・販売)

- 企業理念 私たちは世界一のまごころをお届けします。